

# お化けタンポポの謎



2013年4月23日、2年生の「生物基礎」の授業で校庭の植生調査を行った。この時期に生育している植物の名前を調べるのが目的である。毎年、調査をしているので、今年も見慣れた風景のはず…だった。

「先生、**すごいもの**をみつけました。」最初に声を上げたのは、4組の嶋田君だった。見ると、普通のセイヨウタンポポの株の中に、ひときわ太い茎が伸びていた。花の部分も複数が癒着したような感じである。「**タンポポのお化けだ**」「なんか気持ち悪い」… 周りをもっと探してみると他にも3本の「お化けタンポポ」を見つけることができた。何年もこの場所でタンポポを観察しているが、こんなものは今まで見たことがなかった。果たして、この「お化けタンポポ」の正体は？

試しに「**お化けたんぽぽ**」で検索してみると、まさに同じ現象がヒットしてきた。この現象は「**帯化(たいか)**」という。植物は茎の先端部に「**成長点**」があって上へと伸びていくが、「帯化」はこの「**成長点**」が「**線**」状に変化し、茎が幅広い帯状になったものらしい。大変に珍しい現象で、一説によると、**約100万分の1の確率**でしか起こらないそうだ。一時、テレビのワイドショーで話題に取り上げられたこともあるらしい。本当に「100万分の1」の確率かどうかは別として、少なくとも四つ葉のクローバーより珍しい現象であることは間違いないだろう。自分も今までさんざんタンポポを見てきたが、今回が初めてというのもそれを裏付けている。

では、帯化現象が起こる**原因は？** 昆虫や細菌によって成長点が傷つけられたことによるものという説、土壌中の特定の化学物質や栄養分が過剰であったためという説、遺伝子の突然変異が原因という説などがあるが、はっきりしたことはあまりよくわかっていないようだ。(ただ、「お化けタンポポ」が害のあるものではないし、近年の放射能の影響で起きたということではないらしい。)

『佐高初記録?のお化けタンポポがなぜ、今年、発生したのか?』は依然、謎のままであるが、相当珍しいことだけは確か。なんだか面白そうである。**誰か、研究してみませんか。**それまでは、『お化けタンポポを見つけると何かいいことがある。』ということにしておこう。お化けタンポポ情報、待ってます。

